



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社サガミホールディングス 上場取引所 東・名  
 コード番号 9900 URL <https://www.sagami-holdings.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 修二  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員管理担当 (氏名) 中島 康文 (TEL) 052-737-6000  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,694	△44.2	△1,387	—	△1,391	—	△1,415	—
2020年3月期第1四半期	6,621	4.3	△8	—	13	△72.8	△88	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,462百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 △80百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△53.71	—
2020年3月期第1四半期	△3.37	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	18,267	11,065	60.5
2020年3月期	18,570	12,526	67.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 11,053百万円 2020年3月期 12,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2021年3月期の配当予想につきまして、業績予想の算定が可能になった段階で速やかに公表いたします。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、適正かつ合理的な算出が困難であることから、現時点では未定とし、見通しが可能となった時点で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	26,501,784株	2020年3月期	26,501,784株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	16,893株	2020年3月期	16,841株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	26,354,238株	2020年3月期1Q	26,351,818株

(注)「株式給付信託(BBT)」制度に関する資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する自社の株式は、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりますが、上記自己株式に含まれておりません。

なお、資産管理サービス信託銀行株式会社は、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社及びJTCホールディングス株式会社と合併し、2020年7月27日付で、株式会社日本カस्टディ銀行に商号変更しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日)におけるわが国経済は、世界規模の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、国内における消費活動が一気に冷え込んだ結果、景気は急速に悪化しております。新型コロナウイルス感染症においては、いまだ収束の目処は立っておらず影響は続くことが予測されます。

外食産業におきましても、継続的な労働需給の逼迫による人件費の上昇や、食材価格の高騰などに加え、新型コロナウイルス感染症拡大による政府からの緊急事態宣言や、自治体からの外出自粛要請に伴い、営業自粛や営業時間短縮など多くの店舗が通常の営業活動を控えることとなりました。その結果、事業環境はより一層厳しくなり、予断を許さない状況が続いております。

一方で、消費者の不要不急な外出自粛に伴い、外食から中食・内食への急激なシフトも見受けられ、テイクアウトやデリバリー需要は堅調に推移しております。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止への対応として、従業員のマスク着用、手洗い、定期的な消毒実施などの衛生管理を徹底し、安全対策に万全を期すとともに、食のインフラとしての役割を担うため、終日ランチメニューでの営業や、テイクアウト販売の強化、店舗数地内での屋外販売など、様々な取り組みを行いました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の甚大な影響により、売上高におきましては、前年実績を大きく下回る結果となりました。

(各事業部門)

#### ① 和食麺類部門

和食麺類部門では、当社主力業態である「和食麺処サガミ」において、全店販売促進企画として「料理フェア」を2回、高まるテイクアウト需要に対応するため、「テイクアウト商品全品10%OFF企画」及び「テイクアウト20%OFFチラシ」の配布を行いました。また、広告宣伝として、「シズル感」や「団欒」をテーマにしたテレビCMを1回実施いたしました。当第1四半期におきましては、甚大な感染症の影響により、既存店売上高は前年同一期間に対して43.7%減となり、既存店客数は前年同一期間に対して44.2%減、客単価が前年同一期間に対して0.5%増となりました。

店舗関係では、「和食麺処サガミ 豊橋柱店」(5月)を閉鎖いたしました。

なお、当第1四半期末での店舗数は134店舗であります。

#### ② 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を2回実施したほか、「テイクアウト商品割引企画」を1回実施いたしました。

店舗関係では、「味の民芸 春日部ユキノキ通り店」(5月)を閉鎖いたしました。

なお、当第1四半期末での店舗数はFC店舗を含み54店舗であります。

#### ③ どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を3回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 豊田逢妻店」(4月)を閉鎖いたしました。

なお、当第1四半期末での店舗数はFC店舗を含み35店舗であります。

#### ④ その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において、「料理フェア」、「テイクアウト商品割引企画」を各1回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「料理フェア」を2回実施いたしました。

国内店舗関係では、「健やか食堂」(6月)を閉鎖いたしました。

なお、当第1四半期末での店舗数はFC店舗を含み34店舗となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,694百万円、営業損失は1,387百万円、経常損失は1,391百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,415百万円となり、当第1四半期末のグループ店舗数は257店舗であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、18,267百万円と前連結会計年度末比302百万円の減少となりました。流動資産は前連結会計年度末比123百万円減少し5,955百万円、固定資産は179百万円減少し12,311百万円、流動負債は前連結会計年度末比584百万円減少し2,859百万円、固定負債は1,743百万円増加し4,342百万円、純資産は1,461百万円減少し11,065百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では新型コロナウイルス感染症の収束時期の見通しが立たない状況にあるため、合理的に見積もることは困難であることから引き続き未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,485,255	4,426,473
受取手形及び売掛金	344,436	269,994
商品及び製品	107,273	85,412
原材料及び貯蔵品	487,717	425,572
その他	655,698	749,130
貸倒引当金	△809	△809
流動資産合計	6,079,570	5,955,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,264,241	2,246,029
機械装置及び運搬具(純額)	393,223	378,646
土地	6,535,205	6,535,205
その他(純額)	261,288	277,847
有形固定資産合計	9,453,959	9,437,730
無形固定資産		
のれん	402,634	377,469
その他	160,532	148,019
無形固定資産合計	563,166	525,488
投資その他の資産		
投資有価証券	637,569	515,514
長期貸付金	112,943	105,689
差入保証金	1,543,496	1,531,543
繰延税金資産	19,120	41,183
その他	160,362	154,424
投資その他の資産合計	2,473,491	2,348,354
固定資産合計	12,490,618	12,311,573
資産合計	18,570,189	18,267,348

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	581,686	448,237
1年内返済予定の長期借入金	487,932	644,668
未払金	1,779,337	1,017,110
未払法人税等	58,754	68,377
賞与引当金	135,893	145,903
店舗閉鎖損失引当金	19,225	44,217
その他	381,274	490,777
流動負債合計	3,444,104	2,859,291
固定負債		
長期借入金	1,789,298	3,498,321
長期未払金	199,386	199,952
株式給付引当金	23,235	24,491
退職給付に係る負債	2,677	3,067
資産除去債務	464,589	504,406
長期預り保証金	83,662	78,871
その他	36,333	33,599
固定負債合計	2,599,181	4,342,709
負債合計	6,043,285	7,202,000
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,178,109	7,178,109
資本剰余金	4,280,379	4,280,379
利益剰余金	1,184,507	△231,114
自己株式	△183,395	△183,464
株主資本合計	12,459,599	11,043,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,206	1,376
為替換算調整勘定	△10,030	8,191
その他の包括利益累計額合計	53,176	9,568
非支配株主持分	14,127	11,868
純資産合計	12,526,904	11,065,347
負債純資産合計	18,570,189	18,267,348

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	6,621,422	3,694,206
売上原価	2,033,577	1,256,600
売上総利益	4,587,845	2,437,605
販売費及び一般管理費	4,595,903	3,825,597
営業損失(△)	△8,058	△1,387,992
営業外収益		
受取利息	724	342
受取配当金	11,329	10,254
為替差益	4,437	—
受取保険金	2,168	7,613
雑収入	3,471	5,129
営業外収益合計	22,132	23,341
営業外費用		
支払利息	829	1,308
為替差損	—	25,487
雑損失	60	150
営業外費用合計	889	26,945
経常利益又は経常損失(△)	13,184	△1,391,597
特別利益		
保険解約益	6,000	—
投資有価証券売却益	—	69,556
特別利益合計	6,000	69,556
特別損失		
固定資産除却損	1,199	1,034
減損損失	48,258	39,478
店舗臨時休業による損失	—	38,420
その他	1,237	—
特別損失合計	50,694	78,932
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,510	△1,400,973
法人税、住民税及び事業税	14,761	22,064
法人税等調整額	50,761	△4,544
法人税等合計	65,523	17,520
四半期純損失(△)	△97,033	△1,418,493
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,061	△2,872
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,971	△1,415,621

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△97,033	△1,418,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,643	△61,830
為替換算調整勘定	△4,390	18,027
その他の包括利益合計	16,252	△43,802
四半期包括利益	△80,780	△1,462,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,681	△1,459,229
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,099	△3,066

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症による会計上の影響

当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う政府による緊急事態宣言や地方自治体からの自粛要請を踏まえ、店舗において休業や時間短縮営業を行いました。緊急事態宣言が解除され段階的に営業時間を見直しております。

売上高等の減少など甚大な影響を受けておりましたが、当該宣言解除後は一定の回復が見られております。今後しばらくは外出自粛が一定程度影響するものの、第2四半期連結会計期間以降緩やかに需要は回復し当連結会計年度末にかけて収束していくものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損の会計処理を行っております。

当該仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定から重要な変更はありません。

店舗臨時休業による損失

当第1四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、店舗の臨時休業を行っております。店舗の臨時休業期間中に発生した固定費(地代家賃等)を店舗臨時休業による損失として、特別損失に計上しております。